公益社団法人 中間市シルバー人材センター

# 令和元年度 安全ニュース 第１号（５月発行）

## ◇安全対策実施計画

| 月 | 重点実施項目 | 遵　守　事　項 | 摘　　要 |
|---|---|---|---|
| 4 | 安全意識の高揚 | ☆ すべての就業で安全就業ワッペンの着用を徹底すること。<br>☆ 作業別安全就業基準の再確認を行うこと。 | ☆ 春の交通安全県民運動 ４月６日～４月１５日<br>☆ 安全チョッキ及びヘルメットの完全着用徹底<br>☆ 安全心得の厳守 |
| 5 | 草刈作業による事故防止 | ☆ 周囲の状況・安全確認を行い、防護対策を徹底すること。<br>☆ 危険箇所の周囲は手刈りすること。 | ☆ 作業前の柔軟体操<br>☆ 機械の修理・点検・整備<br>☆ 障害物の周知・除去<br>☆ 接近作業（１５ｍ以内）の禁止 |
| 6 | 共同作業における<br>安全就業 | ☆ 就業前のミーティングを徹底し、各グループ内で安全確認を行うこと。<br>☆ リーダーの指示・安全指導には従うこと。 | ☆ 会員相互の安全注意・教育<br>☆ 作業中看板等の設置厳守<br>☆ 全国安全準備月間 |

## ◇中間市シルバー人材センター事故報告（４月分）

| 月 | 事　故　内　容 |
|---|---|
| ４月① | 会員が２ｔダンプを運転し発注者駐車場にバック駐車していたところ、２ｔダンプに立てている右板を車庫ポールに接触させ破損させた。 |

**事故防止、急ぐな、あせるな、気を抜くな**

## ◇全シ協事故報告（2 月から 3 月分）

| 月 | 事　故　内　容 |
|---|---|
| ２月① | 三脚（3m位）の上での作業を終えて、片手に電気バリカンを持ち、体を斜めにしながら三脚を降りる際、三脚の下から五段目付近で腰に付けていた剪定ハサミのホルダーが三脚のステップの隙間に引っかかりバランスを崩し転落した。その後通院していたが容態が悪化し10日後に死亡した。 |
| ２月② | 除草剤散布現場を下見中に2mの高さの擁壁からつまずいて、水路の会所に落下し脊髄等を骨折した。特に頭部、頚部、肺部の損傷が大きく入院したが、約４ヵ月後に死亡した。 |
| ２月③ | 道路・公園清掃の就業中に会員本人から体調がすぐれないとセンターに連絡が入り、職員が現場を訪問した。その後すぐ交代会員を手配し、午後より就業を変わることになったが、訪問してから約30分後、駅前広場のトイレ内で倒れているところを市民が発見した。病院に搬入され入院治療していたが後日死亡した(家族の話によると数日前から体調不良であったとのこと)。 |
| ３月① | 会員15名で草刈就業中、休憩直前に会員Ａが自家用軽自動車を移動しようとして土手に乗り上げ横転しそうになったため、会員Ｂ、Ｃが駆け付け３名で車輌を戻そうとしたが、さらに人数が必要と判断し、会員Ｂが応援を呼びに行ったところ、会員２名では支え切れず車輌が流れ出し、通路反対側の土手に衝突して止まった。会員Ａ，Ｃが車両に近づいたところ、会員Ｄが土手と車両間に挟まれており、救急搬送されたが死亡した。 |
| ３月② | 会員４名により雑木の枝を落とす作業をしていたが、当該会員が３ｍの三脚の上から３段目でチェーンソーを使い、雑木の枝を落とす作業を行っていたところ、切断途中で枝が折れ、その枝が三脚側（当該会員側）に倒れてきて身をかわした際、三脚から転落した。救急搬送されたが３日後に死亡した。 |
| ３月③ | 昼頃、信号機のない市道交差点で会員が運転する原付自転車と２ｔトラックと激突し、救急搬送されたが約１時間半後に死亡した。 |
| ３月④ | 就業後、自転車で帰宅途中、交差点を横断していた会員が、走行してきた自動車と激突し、救急搬送されたが当日死亡した。 |
| ３月⑤ | 公園に面した車道と歩道の境（縁石）のあたりに飛来した落ち葉、砂等を車道に出て清掃していたところ、走行してきた軽自動車に跳ねられ、当日死亡した。事故後、運転手は救命措置もとらず、そのまま逃走した（飲酒運転）。 |
| ３月⑥ | 午前９時頃、個人宅のテラス支柱交換作業の打ち合わせを発注者と打ち合わせ後、交換する支柱の脇に脚立を立て作業を開始しようとしたところ、前々日の台風の影響で芝生が不安定であったため、脚立に登り始めて２、３段目のところでバランスを崩し転落し、また、その時に掴んでいた脚立が倒れ下敷きになった。救急搬送されたが、約２週間後に死亡した。安全帽不使用、不安定な場所に脚立を立て敷板を使わず、また一人作業であったため起こった事故であると思われる。 |

| 月 | 事　故　内　容 |
| --- | --- |
| ３月⑦ | 会員１０名により台風により道路に散乱していた落ち葉等の片付けを行なったが、停車していたセンター所有の軽自動車の左前方で、当該会員が落ち葉と枯枝をしゃがんで選別していたところ、軽自動車を前に動かそうと、他の会員が後方から運転席に乗り込み発進させた。車の前方にいた当該会員はしゃがみこんでおり、運転した会員の死角となっていたため見えず、車の下に巻き込まれ、救急搬送されたが翌日死亡した。 |
| ３月⑧ | 就業を終えて、自転車で就業先の施設内から公道に出ようとした際に、同施設に入るため公道から右折して来た自動車と激突し、転倒して救急搬送されたが翌日死亡 |
| ３月⑨ | 精米機内のこぬか回収作業を行っていたが、こぬかを入れる袋が不足していることに気付き、自宅に置いていた袋を取りに行った。車を降りて玄関に向かう途中で自宅前の石に滑り転倒し後頭部を打った。入院後６か月を経過したが、現在入院中である。 |
| ３月⑩ | 会員８名により、りんご収穫作業中に、段差のある場所へ三脚を設置して、りんご採りを始めたが、三脚が開いてしまい、当該会員がバランスを崩し三脚から転落した。その際に、後ろ向きで頭から落ちたので、頚椎を強く打ち、病院に救急搬送された。入院後６ヶ月経過したが、現在も入院中である。<br>なお、安全帽の着用及び安全帯の着用はしておらず、<br>三脚の点検についてもしていなかった。 |
| ３月⑪ | 会員１名で高さ６～７ｍのタイサン木の剪定作業中に転落し、病院に救急搬送されたが、９日後に死亡した。<br>発見時、ヘルメットの着用及び安全帯は体に装着はしていた。脚立も倒れておらず、そのままの状態であったことから、樹木に登っていたものと思われる。<br>事故が発生した木は、午後から会員２名で作業する予定であったが、死亡した会員が一人で作業を先行して開始していた。もう一人の会員は事故が発生した木が見えない位置で作業をしていたため、事故が発生したことに気づかなかったが、次の作業に入るため声を掛けにいったところ、倒れている会員を発見した。 |
| ３月⑫ | 就業準備のため、２階のロッカー室に向かう途中で階段から足を滑らして転倒、落下し、救急搬送された。入院後６ヶ月経過したが、その後退院した。 |
| ３月⑬ | 会員２名で個人宅の庭木の剪定作業に従事していた。死亡した会員は、キンモクセイ（高さ2.5m）の剪定作業を地面から電気バリカンで行なっていたが、何らかの理由でバランスを崩したようで、植木から約1m離れたところのブロック塀の外のアスファルト舗装の町道に転落した。塀は庭側の高さが約60ｃｍで、道路側は塀の上端から道路までの高さが約4.5mあり、ヘルメットを着用していたが、後頭部を強打しており、路上で倒れているところを巡回中のパトカーに発見され、救急搬送されたが、当日死亡した。 |

| 月 | 事　故　内　容 |
| --- | --- |
| ３月⑭ | 河岸緑地での除草作業中、緑地帯にある自転車が邪魔になるので、これを動かしていた際、誤って自転車を横腹に当ててしまった。その後、気分が悪くなって救急搬送され入院したが、20日後に死亡した。なお、当該会員は従来から肝臓がんの治療を受けていた。 |
| ３月⑮ | 就業先から車で帰宅途中、町道に石が落ちていたため、車から降りて取り除こうとしたところ、落石が頭を直撃したものと思われる。 |
| ３月⑯ | 会員が自宅からバイクで就業先に向かう途中、信号機のない交差点で軽自動車と激突し、救急車で緊急搬送されたが、当日死亡した。 |
| ３月⑰ | 会員が、自宅から就業先に車で移動中に信号機に激突し、救急搬送されたが当日死亡した（原因は不明）。 |
| ３月⑱ | 会員２名により、台風により折れて樹上に残っていた枝を取り除こうと、軽トラックの荷台に脚立を置いて木に登った。一緒に作業をしていた会員は木を登ったところまでは確認していたが、他の作業中のため落ちた瞬間を目撃していないが、ポキっと木が折れる音がした後、ドスンと大きな鈍い音がしたので振り返ると、当該会員があおむけに倒れていた。その時点では意識もあり話もで |

**※４月に中間市シルバー人材センターでは事故が１件発生しました。**

**これから作業が多くなってきますので、事故を起こさないようにお願いいたします。**